



新井厚子さん

美術家 福知山市大江町在住

大江町にて生まれ育ち、
バルセロナを拠点に制作活動のため
20年近く海外を渡り歩いたのち
福知山へUターン
現代美術を通した独自の視点で
まちの文化や歴史を見る

福知山にUターンして

自分の原点に戻る気持ちで大江町にUターンして、「北近畿には大きな可能性がある」ことに気づいた。昔はそれほど気にとめなかった物事がとても面白く見える。昔と変わらず故郷がここに残っているという実感とともに、地域の人々と個性的な移住者が織りなす新しい風を感じた。



※舞鶴にて、地域の子ども達と身の回りのものの拓本をとるワークショップを開催



地域の捉え方について

バルセロナに住んでいた時、見た目だけでなくアートを通じて地域の文化を知ること、地域のいろんな部分が見えた。その結果、その土地をもうひとつの故郷と捉えることができ、またそれが次の創作活動に繋がっていった。住民とともにアートプロジェクトを通じてその土地の文化をより深く知り、広めていきたい。



※スペインの市場にて、住民を含めたアートプロジェクト「ここが美術館」



※福知山市三岳地区にて、地域の方言をまとめた「ここらあ語」

今後やってみたいこと

お年寄りと話しをすると、みなさん経験豊富でたくさんの知恵をお持ちだと実感する。しかしそれを活かす場がなく、どこか手持ち無沙汰に見えた。そこで、色々な年代の方が交流できるワークショップを企画している。異世代間の交流が希薄になっている今、知恵や技を伝える、伝えられる場を作りたい。例えば、方言には地域の文化や歴史が凝縮している。それをまとめるだけでも文化の伝達手段となりうる。言葉は、私たちの大切なアイデンティティのひとつだからだ。

編集後記

これまで、地域や世界といった言葉の意味合いを深く考えたことはなかった。新井さんの考え方を聞き、これから先の様々な体験を通じて、「私にとっての地域」を見出してみたいと感じた。

編集長 稲留優樹